

緑化委員会広報

団地周囲の遊歩道を整備

「鶴牧六アダプト会」が初作業

緑化委員會有志による「鶴牧六アダプト会」が正式に発足してから初めての草刈り作業が10月21日に行われた。定例作業に続いて同月2回目の作業になったが、会員15人が参加、団地西北側のモミシバフウ並木道の雑草を刈った。



作業は、刈り払い機5台を使ってグリーンベルトを中心に整備された遊歩道



きれいに整備された遊歩道

が、多摩市の経費削減で年1回になった。このため6月ごろの1回目は業者が担当し、「鶴牧六アダプト会」は10月ごろの2回目の草刈り作業を全面的に請け負うことになった。

近く「鶴牧六アダプト会」の看板を立てる準備をしている。

定例作業報告

(8月、10月)

8月は夏休みで中止。
9月2日(日) 理事会の草刈りデーと共同作業。南、東側のアジサイせん定と斜面の草刈り。アジサイは咲き終わった花がらせん定しないと、翌年、きれいな花が咲かないため、一株ずつ入念に切り落とした。
10月7日(日) 当初の予定より1週間、雨で延期して実施。東側の駐車場と斜面の生垣ウバメガシせん定。今年2回目です春まで成



東側斜面の樹木せん定(10月7日)

長を止める「止め刈り」。また、東斜面のユキヤナ

スズメバチの巣を駆除

多年草のつるの花が好物

生垣のせん定作業中に造園業者「風雅苑」の望月代表が、スズメバチの巣を見つけ、駆除しました。発見場所はタウンハウスの生垣の中で、サザンカの葉枝に巣作りをしていました。

生垣には多年草のツル植物、ヤブガラシが絡まっていましたが、スズメバチはこのヤブガラシの花の蜜が大好物。ヤブガラシを見つけたら早期に除去をお願いします。



生垣で見つかったスズメバチの巣



生垣に絡まるヤブガラシ

作業中止のお知らせ
11日は市民清掃デーに合わせた理事会の草取りが予定されているため、緑化委員会の作業はありません。

ギの背丈が伸びて道路側の斜面に覆いかぶさるように成長したため、半分以下に伐採した。
10月21日(日) 正式認定された有志団体「鶴牧6アダプト会」が初仕事。団地西、北側の遊歩道の整備実施。グリーンベルトの雑草を刈り払い機5台で刈った後、大松台小学校側の生垣などを整備。
アダプト作業と並行して前回の定例作業日に時間超過で中断したまま放置していた東側斜面の刈り草の搬出を実施。

鶴牧6アダプト会の作業に参加した。たぐさんのメンバーが集まり緑化作業同様、阿吽(あうん)の呼吸で2時間ほどで終了した。きれいなようになった歩行者道路は気持ちいい。草刈り機を回しながら団地入居当時を思い出していた。

での田上さんの奮闘話などを思い出す。他にも私の知らない逸話があるだろうし、今それを引き継いでいる住人がいる。

事も素晴らしい。ボランティア精神の欠片(かけら)もなかった小生は理事會活動や大規模修繕委員を経験後、やっと団地

入居当時に思い出出す

アダプト作業に参加して

活動に関するようになったが、さまざまな方々の一期一会に感謝している。19年目を迎えるホームタウン鶴牧。他の団地と比べ活動は盛んな方だと思ふ。住人の半分くらいは入れ替わったかもしれないが、若夫婦や子供たちが多くなり未来を感じる。緑化作業にも若い力が参加してくれる日が近いかもしれない。(末木)

手探りだったであろう団地活動の中で高村さんご夫妻が管理事務所前の花植えをしていた話や、子ども会

今年のプロ野球閉幕

熱烈会員の回顧集

▼驚きの日本一
中日新聞社に入社したのは昭和31年。天知監督、杉下投手などで日本一になったのは、その2年前だった。優勝がないな—と思っていたが、今年の日本一が53年ぶりとは驚きです。当時、中日の東京進出で現地採用の東京っ子

は、社内で小さくなっていました。社内でドラ・ドラ騒がれると、何がドラやっと思つたもんです。半世紀も過ぎると、今は懐かしいばかりです。当時、好きだった選手はライトの原田、セクターの中、セカンドの高木守道。目立ちたがり屋の星野仙は大嫌いでした。(高村)

▼あの夜を忘れない
信じられない事態にぼう然自失となった。マジック

点灯の直前になんと8連敗。トラはあつという間に自爆した。今シーズン初めて首位に立った日、宿泊していた下田温泉で緑化委員会の仲間と深夜に祝杯を挙げた。逆転優勝は間違いないと狂喜して乾杯したグラスの感触が忘れられない。終わってみれば3位。あの夜の王道野球は何だったのだろう。燃焼不良の悔しいシーズンだった。(富田)

▼寂しい古田引退
東京ヤクルトが大好きでその活躍に熱い思いを寄せている。それにしても今シーズンの戦績は21年ぶりの最下位。この厳粛な事実に悔しい思いをしている。監督兼任の古田捕手が今季限りで引退した。これまでに18年間の長きにわたって在籍したが、この間、リーグ優勝5回、うち4回は日本シリーズ優勝と大きく貢献してきた。ヤクルトの顔、

▼西鉄は強かった
西武を応援し始めたのは半世紀前の西鉄時代から。西鉄黄金時代の三原監督下で稲尾、中西、豊田でV3。奇跡の一九五八年10月、巨人と日本シリーズを戦って3連敗から4連勝。稲尾が連投し、「神様、仏様、稲尾様」の名言が生まれた。その時の感動は今も忘れられない。

七九年、西武がスタート。西武球場まで応援に行き出掛け、ビールを飲みながらの観戦は、また10倍も楽しい。八六年から森監督下、

「人生、足腰に余力あるうちに、やりたいことを模索したい」。茂木さんの引退の弁を聞いて脱帽した。サラリーマンが定年前になかなか決断できることではありませぬ。人懐こい笑顔を絶やさず、いつも対応してくれた茂木さんに感謝。「緑化委員の皆さんによるしく」とのことでした。(編集担当 富田)

—ご苦労さんでした。長いようで短い18年4カ月間でした。皆さんには、いつも暖かく支援していた



入居開始から18年間、管理人として常駐していた茂木朝恵さんが10月末で引退しました。緑化委員会としても住民からの苦情窓口、作業後のごみ回収や市役所との連絡など大変お世話になりました。

18年間のご苦労さん 管理人の茂木さん引退

—当団地が最初の職場と
だき感謝の気持ちでいっぱいです。
研修を受け初めてこの団地に配属されました。1、2号棟の入居が始まった平成元年6月15日でした。3号棟や管理事務所前のイベント広場などは、まだ工事の真つ最中でした。
—いろいろ気苦労もあつたのでは。
今はいい思い出です。入居当初は植栽した樹木がまだ根付いていないため、台

風襲来で2号棟前のイチョウの木が倒れそうだと通報を受け、慌てて手配したことを覚えています。
—大きな決断をされましたが。
今春、初孫が生まれたのが大きな理由です。元氣なうちに孫の世話をしたいのと、大げさですが、年を取って足腰が動けなくなる前に、もっと社会貢献できる新しい生き方を模索したいと考えました。
—子育てで悩むことも。苦しい時もありました。事務所は1人勤務なので、子どもが突然、風邪などを引いても休めません。事務所に出勤して、鍵を開けてから会社交代要員の要請をしました。皆さんの支援があつたからと感謝しています。



かれんに咲く高山植物コマクサ=乗鞍岳で山城会員撮影

古田監督の引退は寂しいが、いつの日か再び神宮球場に戻ってくることを願ってやまない。(香村)

▼野球は生易しくない
プレーオフ第1ステージ、全く抵抗することなく敗れ去った。これが今年の某チームの姿か。がっかりしたが、それほど落ち込んでいない。私の淡白な性格か、はたまたそれほど期待していなかったのか定かではない。前半を考えればプレーオフなんか今年を考えられなかった。優勝は生易しくない。

私が勤め始めた昭和42年に62の事業所対抗戦が行われ、わが職場が初優勝した。ささやかな祝勝会をしたことを思い出す。(会田)

秋山、石毛、清原、伊東、そして渡辺久信投手らで3年連続日本一。渡辺新監督さん。いつかト金となってまた以前のような黄金時代を築いてくれることを信じてます。(林)

▼なぜかBクラス
広島生まれということの子供のころから広島が勝つと気分が良かった。チーム打率は1、2位で、3割打者が3、4人いてもシーズンを終わると、なぜかBクラス。でもそんなカーブが好きだ。
財政難で何度か身売りが検討された球団だ。東洋工業(現マツダ)が筆頭スポンサーになったが、某新聞社のように口出しすることはない。
「来季こそAクラス入りを果たしてくれんかのお」。(田上)

編集後記